

各位

公益社団法人日本実験動物協会

「実験動物の感染症と微生物モニタリング」発刊のご案内

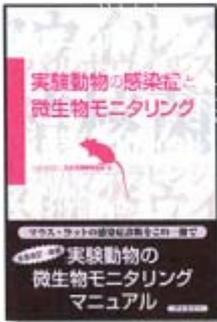
当協会のモニタリング技術委員会（担当理事日柳政彦、委員長高倉彰）は、モニタリング実技（感染症診断・予防実技）研修会を毎年開催し、「微生物モニタリングの実施要領とその解説 マウス・ラット編」および「モルモット、ウサギおよびハムスター編」、「実験動物の微生物モニタリングマニュアル」並びに「DVD マウス・ラットの微生物モニタリング」を刊行し、微生物モニタリングに関する知識の啓発を図るとともにモニタリング技術を充実させ、実験動物の安定的な品質維持を図ってきました。

今回、「実験動物の微生物モニタリングマニュアル」の改訂版として、「実験動物の感染症と微生物モニタリング」を発行する運びとなりましたのでご案内いたします。

新刊案内

実験動物の感染症と微生物モニタリング

公益社団法人 日本実験動物協会 編
2015 年 4 月 発売 価格（本体 6,800 円＋税）
ISBN978-4-904419-56-4 C3047
発行：株式会社アドスリー 発売：丸善出版株式会社



マウス・ラットなどの感染症診断を理解できる「実験動物の微生物モニタリングマニュアル」の全面改訂版。培養、血清反応、鏡検・PCR 法を紹介。ウイルス・細菌・寄生虫は分類・性状、宿主・病態、診断より見開きで構成

I. 微生物モニタリングの意義 II. モニタリング計画のたて方 III. 検査手技 1. 検査材料採取手続 1-1. 臨床症候の観察 1-2. マウス・ラット・ハムスターからの検査材料採取手続 1-3. モルモット・ウサギからの検査材料採取手続 2. 細菌同定法 3. 血清反応 4. 寄生虫検査法 5. 遺伝子増幅法 IV. 微生物汚染確定後の対応 V. モニタリング対象微生物のプロファイル 1. ウイルス 1) センダイウイルス 2) マウス肝炎ウイルス 3) 唾液腺腺炎ウイルス 4) エクトロメリアウイルス 5) ウサギポックスウイルス 6) ハンタウイルス 7) リンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス 8) マウスアデノウイルス 9) その他のウイルス感染 マウスロタウイルス 10) マウス肺炎ウイルス 11) パルボウイルス 12) マウスノロウイルス 13) マウス脳脊髄炎ウイルス 14) マウスレオウイルス 3 型 15) 乳酸脱水素酵素ウイルス 2. 細菌・真菌 1) 肺マイコプラズマ 2) ティザー菌 3) サルモネラ 4) 腸粘膜炎菌 5) 肺パスツレラ 6) パスツレラ 7) ネズミコリネ菌 8) 気管支敗血症菌 9) 肺炎球菌 10) 溶血連鎖球菌 11) 緑膿菌 12) 黄色ブドウ球菌 13) ヘリコバクター 14) 假性結核菌 15) ボルデテラ ヒンジイ 16) 皮膚糸状菌 17) ニューモシスチス 3. 寄生虫 1) 消化管内原虫 2) 線虫 3) 外部寄生虫 4) コクシジウム

販売価格 : 7,344 円（消費税込み）です。

申込み方法及びお支払い方法：先払いとなっております。

郵便振替で、通信欄に注文内容を明記して、下記の口座に代金をお振込みください。

ご入金確認次第発送致します。払込票をもって領収書に代えさせていただきます。

【郵便振替口座番号】 00180-5-35672

【加入者名】 公益社団法人 日本実験動物協会

以上